

第8回 公共施設マネジメント研究会

新しい公共施設づくりへのアプローチ

主催：国立大学法人 名古屋大学 施設・環境計画推進室、工学部施設整備推進室、広域横断型地域施設再編研究会

後援：公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会、公益社団法人 日本建築家協会 東海支部 愛知地域会

名古屋大学では、2009年より「公共施設マネジメント研究会」を開催し、大学、行政機関、産業界と連携して、新たな公共施設のあり方を考えて参りました。第8回となる今回は、愛知県内の多くの自治体よりご提供頂いた公共施設に関わるデータ等に基づく研究成果についてご報告するとともに、日本建築家協会(JIA)東海支部にて実施した連続レクチャー「地域が建築に求めるもの」のエッセンスからこれからの公共施設をつくる方法について考えます。

第1部では、各自治体で進めている公共施設再編計画に向けて、科学研究費補助金「施設キャパシティと利用者アクティビティの適合による広域横断型の地域施設再編」により実施している一連の研究成果について報告します。

先ず、研究会を主宰する恒川和久より、愛知県内の40以上の自治体より提供頂いた公共施設データに基づき、各自治体の公共施設保有状況を比較し、ベンチマーク可能なデータベースを提供します。

鈴木翔大からは、人口規模や密度の異なる6自治体で行った市民アンケートの結果から、どこに住む市民がどのような活動をどの施設を使って行っているのか、その利用圏域について報告します。

斉藤孝治からは、県内9自治体の公共施設白書や施設実態調査に基づき、利用者にとって魅力的な施設となる要因について報告します。

小野竜也からは、県内全域におけるGISを用いた分析により、立地適正化計画の都市機能誘導地域にも繋がる公共施設の配置について報告いたします。

第2部では、橋本雅好さんより、JIA連続レクチャーで紹介された多様な施設づくりの事例に基づき、市民参加、合意形成、プログラム、居場所づくりといった、これからの公共施設をつくる上でのさまざまなアプローチについてご講演いただきます。

第3部では、講演者に加え会場からのご意見も頂きながら、これからの公共施設づくりについて議論を進めたいと思います。

なお、今回は参加者を自治体および大学の関係者に限定させていただきます。ぜひ、各自治体の実情について奇譚ないご意見を頂くとともに、意見交換会にもご参加いただき、自治体間の連携も進めていくきっかけになればと考えております。施設マネジメント、都市計画、施設計画など、関連する部署の皆様にもお声がけいただき、万障お繰り合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

■開催日時 (会費無料 / 要申込)

2017年2月15日(水) 13:30~17:20(受付開始:13:00)

■会場

名古屋大学 ES 総合館 1階 ES 会議室 (定員100名)

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

■プログラム

13:30~13:40

開会挨拶：奥宮 正哉 (名古屋大学 施設・環境計画推進室室長)

司 会：太幡 英亮 (名古屋大学 工学部施設整備推進室)

第1部 公共施設に関わる研究成果報告

13:40~14:50

講演：恒川 和久 (名古屋大学 工学部施設整備推進室)

「主旨説明・愛知県各自治体の公共施設実態調査報告」

報告①：鈴木 翔大 (名古屋大学大学院環境学研究科)

「市民目線から考える公共施設の利用圏域」

報告②：斉藤 孝治 (名古屋大学大学院環境学研究科)

「公共施設の利用度の要因分析」

報告③：小野 竜也 (名古屋大学大学院環境学研究科)

「広域的な立地適正化計画と公共施設配置」

第2部 公共建築づくりにかかわるアプローチ

14:50~15:30

講演：橋本 雅好 (椋山女学園大学)

「地域が建築に求めるもの～日本建築家協会愛知地域会からの発信」

休憩

第3部 ディスカッション

15:50~17:20 上記講演者にコメンテーター、会場を交えQ&A セッション

コメンテーター：村上 心 (椋山女学園大学)

生田 京子 (名城大学)

桃原 勇二 (日進市 財政課 (管財営繕))

意見交換会 17:30~19:00 (要申込・参加費3,000円)

申込締切：2017年2月10日(金)

申込・問合せ先：名古屋大学工学部施設整備推進室 (担当：山田)

E-mail: yamada.chikage@h.mbox.nagoya-u.ac.jp

TEL: 052-789-3742

名古屋大学ファシリティマネジメント研究会ホームページ：<http://fm.campus.provost.nagoya-u.ac.jp/index.html>